2012 年 12 月 15 日

水文水資源学会セミナーの経緯

水文水資源学会はこれまで研究者・技術者，行政担当者を対象として「水文水資源学会セミナー」を６回開催してきました．過去の開催状況は次の通りです．

第１回　水環境の再生と水環境の創造　（1999 年 11 月，高松市）
第２回　２１世紀・中部日本における人間社会と水環境の再生　（2000 年 12 月，名古屋市）
第３回　２１世紀　水とつきあう　（2001 年 12 月，広島市）
第４回　流域管理における森林・河川　（2002 年 5 月，東京・中央大学）
第５回　水文水資源学会セミナー　―気候変動と水災害・生態系―　（2006 年 5 月，東京・東京大学）
第６回　水文水資源学会セミナー　地球温暖化時代における水文・水資源と水管理～我々は如何に立ち向かうのか～　（2008 年 7 月，東京・東京大学）

（詳細）第４回以降
第４回　流域管理における森林・河川
◆「森林の多面的機能について」　太田猛彦（東京大大学院教授）
◆「森林流域における水循環特性と森林管理」　服部重昭（名古屋大大学院 教授）
◆「自然と共生する流域管理について」　玉井信行（金沢大（前東京大大学院教授） 教授）
◆「水文現象として見た洪水の挙動」　末次忠司（国総研河川研究室 室長）
◆「渓・河畔植生と河川生物群集の関係」　竹門康弘（京都大防災研究所 助教授）

第５回　水文水資源学会セミナー　―気候変動と水災害・生態系―
◆「変化する地球環境と気象災害」　木本昌秀（東京大気候システム研究センター 教授）
◆「大洪水の予測シミュレーション」　立川康人（京都大防災研 助教授）
◆「ハリケーン・カトリーナの教訓」　田中茂信　（独法・土研 上席研究員）
◆「地球環境変化からみた Eco-Hydrology」　及川武久(筑波大大学院・生命環境科学研究科 教授)
総合討論　水文・水資源学会・企画事業委員会委員長　土屋十圀(前橋工科大大学院 教授)

第６回　地球温暖化時代における水文・水資源と水管理～我々は如何に立ち向かうのか～
◆基調講演「気候変動の影響をどう評価するか」　西岡秀三（国立環境研 特別客員研究員）
◆「地球温暖化に伴う日本の気候変化」　諸岡浩子（気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課）
◆「温暖化進行時における河川水文（降水、年間流況、洪水）の変化」　中北英一（京都大防災研 教授）
◆「植生－大気相互作用の観測とモデリングにおける問題」　渡辺力（北海道大低温科学研究所　教授）
◆「これからの水質評価―そのはじまり」　和田 英太郎（(独)海洋研究開発機構　地球環境フロンティア研究センター生態系変動予測研究プログラムディレクター）
◆「地球温暖化に伴う気候変動が水関連災害に及ぼす影響について」　尾澤卓思（国交省河川局 河川計画調整室長）

2012 年 12 月 15 日

◆総合討論

コメンテーター　小池俊雄（東京大学大学院　教授），谷誠（京都大学大学院　教授）

コーディネーター　砂田憲吾（山梨大大学院 教授，水文・水資源学会 副会長）

司会進行　土屋十圀（前橋工科大大学院教授、水文・水資源学会企画事業委員会委員長）

第７回の案

1) 25 年の歩みを振り返るもの

2) 学会の社会貢献やアウトリーチをレビューするもの

3) 今後の研究テーマや学会への提言的なもの

4) 社会的に関心の高いトピックスに絞って行うもの（従来型）

　　気候変動，豪雨災害，水ビジネス・・・

5) その他

　　水循環解析ソフトウェアの実状と今後の展開・・・